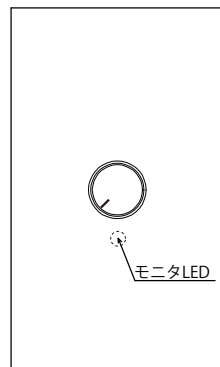


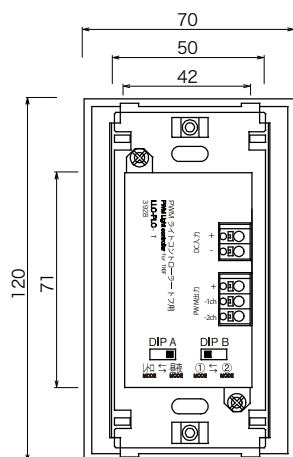
## 製品仕様

※単位:mm

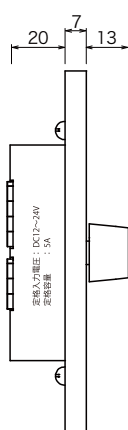
■ 正面図



■ 背面図



■ 側面図

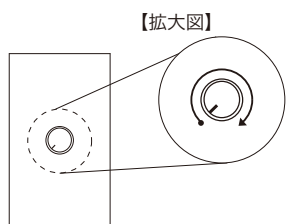


項目 \ 商品名	PWMライトコントローラー トフ用
型番	LLC-PLC-T
外部入力電圧	DC12-24V
外部入力電流	最大 5 A
出力電流	最大 5 A (電圧フリー)
本体サイズ	120(H)×70(W)×40(D)
質量	135g / 個
周囲温度	0℃～+35℃
使用環境	屋内
付属品	つまみ

## 基本操作方法

### ● ツマミ部分の操作について

各端子台の極性を良く確認し、正しく接続してください

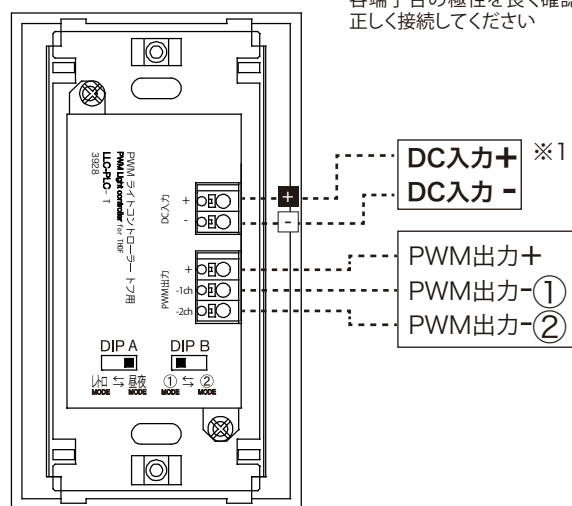


つまみの印を左下に合わせると下限(消灯)、右下に合わせると上限(明るい)となります。

昼夜モードの場合、つまみを押すことで昼、夜が切り替わります。

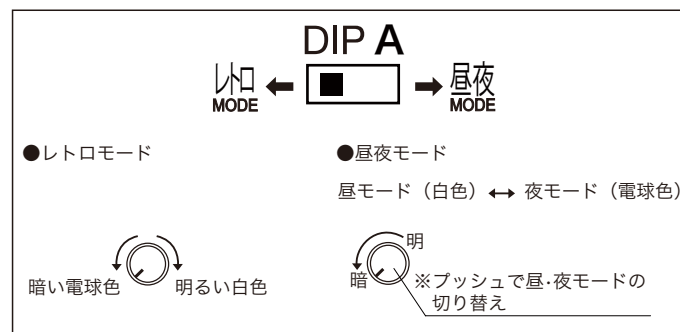
### ● 本体背面の接続について

各端子台の極性を良く確認し、正しく接続してください



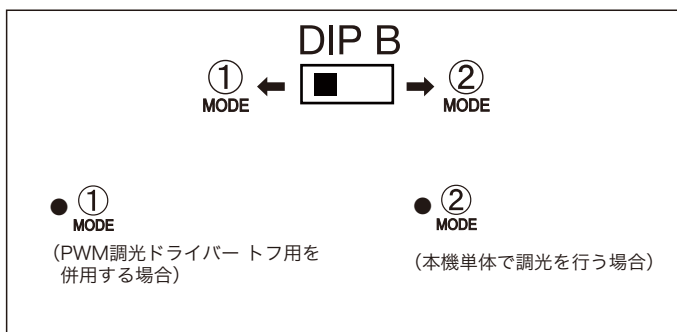
### ● DIPスイッチ A について

レトロモードを状況に合わせて切り替えてください

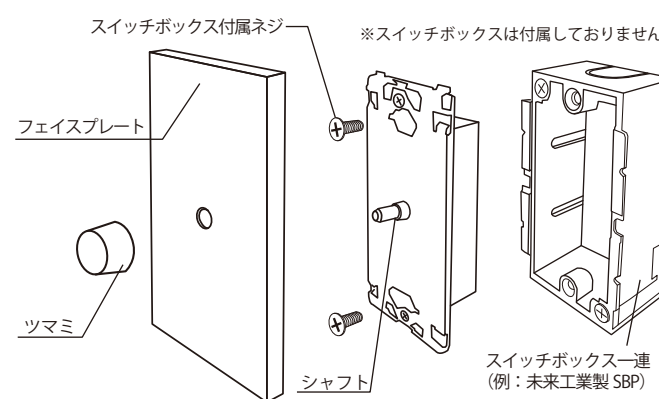


### ● DIPスイッチ B について

DIPスイッチ B を使用する状況に合わせて操作してください



## 施工要領について



### ■ 取付手順

- ① 本体からフェイスプレートを外す(ツメで固定されています)
- ② 本体背面の配線を行う
- ③ 壁面に固定されたスイッチボックスに本体をネジで固定する
- ④ フェイスプレートを戻す
- ⑤ ツマミを本体シャフトへ取り付け

フェイスプレートを壁面設置後に取り外す場合はまずつまみを取り外し、下部のヘコミ部分にマイナスドライバー等を用いて掛けて手前に引っ張ってください。

※スイッチボックス本体の取付方法は各メーカーの取扱説明書をご参照ください

## 注意

本製品へ通電する際は、DC 入力側(※1)の極性を必ずご確認ください。極性を誤ると、本製品の破損や事故の原因となりますので、特にご注意ください。

## 安全にお使いいただくために

ご使用になる方やほかの方々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。以下の注意事項に反する使い方をすると、破損・感電・発煙・発火の原因になります。



DC12～24Vの電源でご使用ください。AC100Vなど、ほかの電源には絶対に接続しないでください。



施工、点検時には必ず主電源を切ってください。本器具に通電したまま、本器具に結線したりしないでください。



本器具を専用電源に接続する際には、専用電源の極性(+-)と本器具の端子台の極性(+-)を合わせてください。逆電圧を印加し続けた場合、製品が破損する場合があります。



必ず適合負荷を最大接続台数以下で使用してください。



本製品は屋内専用器具(壁埋込型)です。必ず容易にメンテナンスできる場所に設置してください。



指定外電線の使用や不十分な結線及び電線の先が曲がっている場合は、機器の異常発熱や火災の原因となりますので使用しないで下さい。説明書に記載された電線を使用し、被覆はストリップ長を守り電線穴に奥まで差し込んでください。



製品が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。シンナーやベンジンなどの有機性揮発溶剤の使用や水洗いはしないでください。



製品に異常が発生した場合は、すぐに電源を切り販売店・工事店にご相談ください。



電源を切った直後は、器具には手を触れないでください。



本灯具は、次のような環境でご利用にならないでください。

- ・高温(35℃以上)になる場所 周囲温度0℃～+35℃
- ・水のかかる場所
- ・湿度の高い場所
- ・粉塵が多い場所
- ・腐食性ガスが発生する場所
- ・海水や有機溶剤に直接さらされる場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・電界や磁界の影響を受ける場所
- ・激しい振動、衝撃の加わる場所、常時振動のある場所
- ・屋外



本器具に、次のような行為を行わないでください。

- ・分解や改造する
- ・電源コードにキズをつける、損傷したコードを使用する
- ・押さえつける
- ・落下させたり、激しい振動や強い衝撃を与える
- ・洗剤などを吹き付ける
- ・金属部をたわしや研磨剤で磨かないでください。傷や腐食の原因となります。



ラジオに対する影響

受信電波が弱い場合には雑音が入る場合があります。その際はラジオを当該製品から十分に離すか、または室外アンテナのご使用をおすすめします。



音声・映像信号に対する影響

放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、当該機器から電磁波の影響を受けることがあります。音声・映像信号はシールド線を用いて配線するか、信号線と電源線とは十分距離を離して施設してください。



医療機器に対する影響

現場環境や医療機器の種類や機器の耐ノイズ性能によっても異なりますので、ご使用の際はご相談ください。

### ご使用前に

●取り付け箇所への本製品取り付けには、スイッチボックスに付属している取付ネジを使用し、確実に取り付けられている事をご確認ください。

## 保証について

本製品の保証期間は1年です。保証期間内に取扱説明書に従った使用状態において故障した場合には、交換もしくは無償修理させていただきます。(出張修理は除きます)

## 点検・メンテナンス方法

### 【点検チェック項目】

- LEDの点灯状態に異常はありませんか。(ちらつき、不点灯など)
- 取付設置状況に異常はありませんか。
- 異常な発熱や音、臭いはありませんか。

### 【メンテナンス方法】

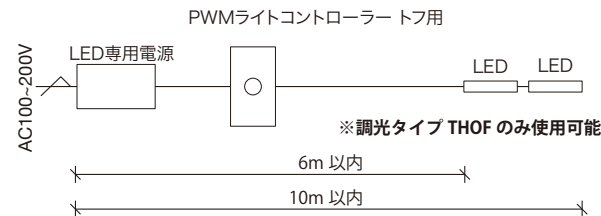
柔らかい布で軽く拭いて、汚れを落としてください。シンナーやベンジンなどの有機性揮発溶剤のものの使用や水洗いはしないでください。

### 配線について

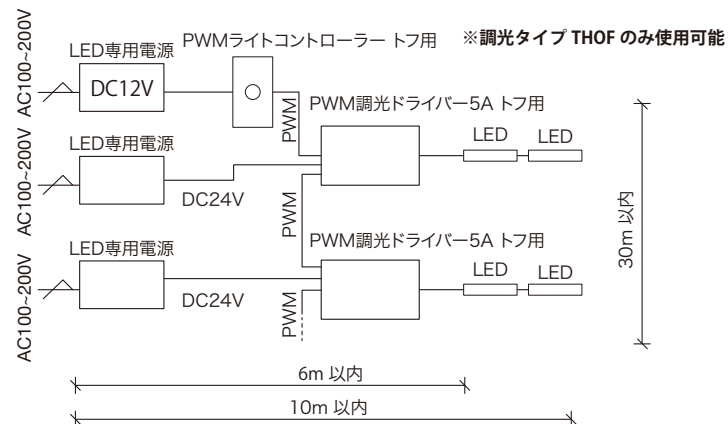
#### 基本システム概念

使用するLED器具の数量によってシステム構成が異なります。それぞれの器具配線距離に制限がございますのでシステム図をご確認ください。

##### ■小規模の場合：PWMライトコントローラー トフ用 + LED専用電源

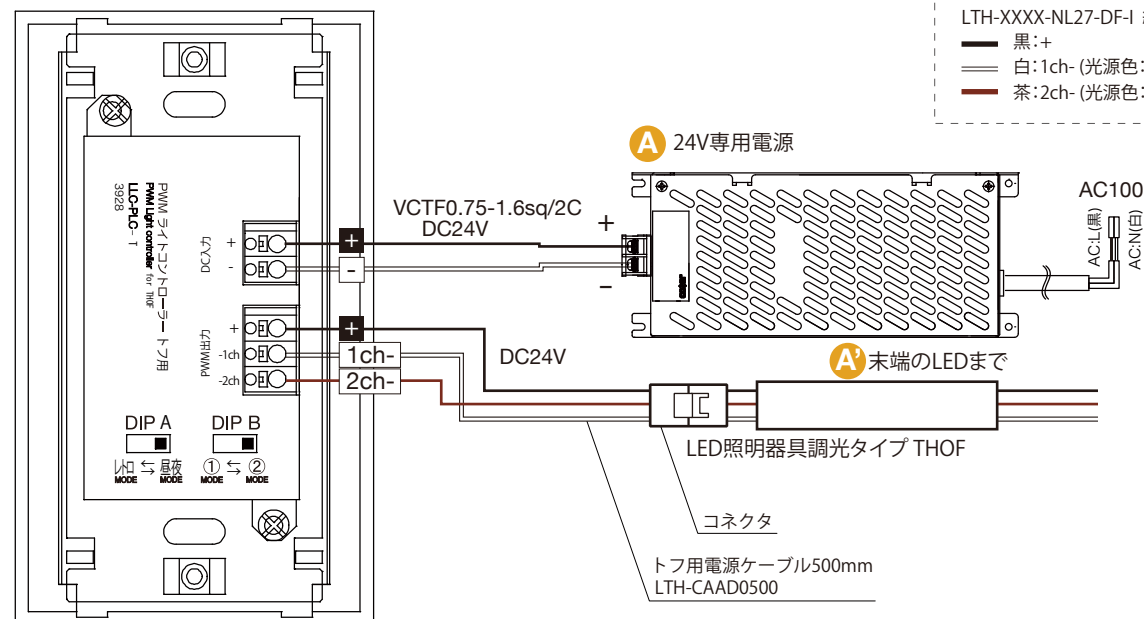


##### ■中～大規模の場合：PWMライトコントローラー + PWM調光ドライバー5A トフ用 + LED専用電源

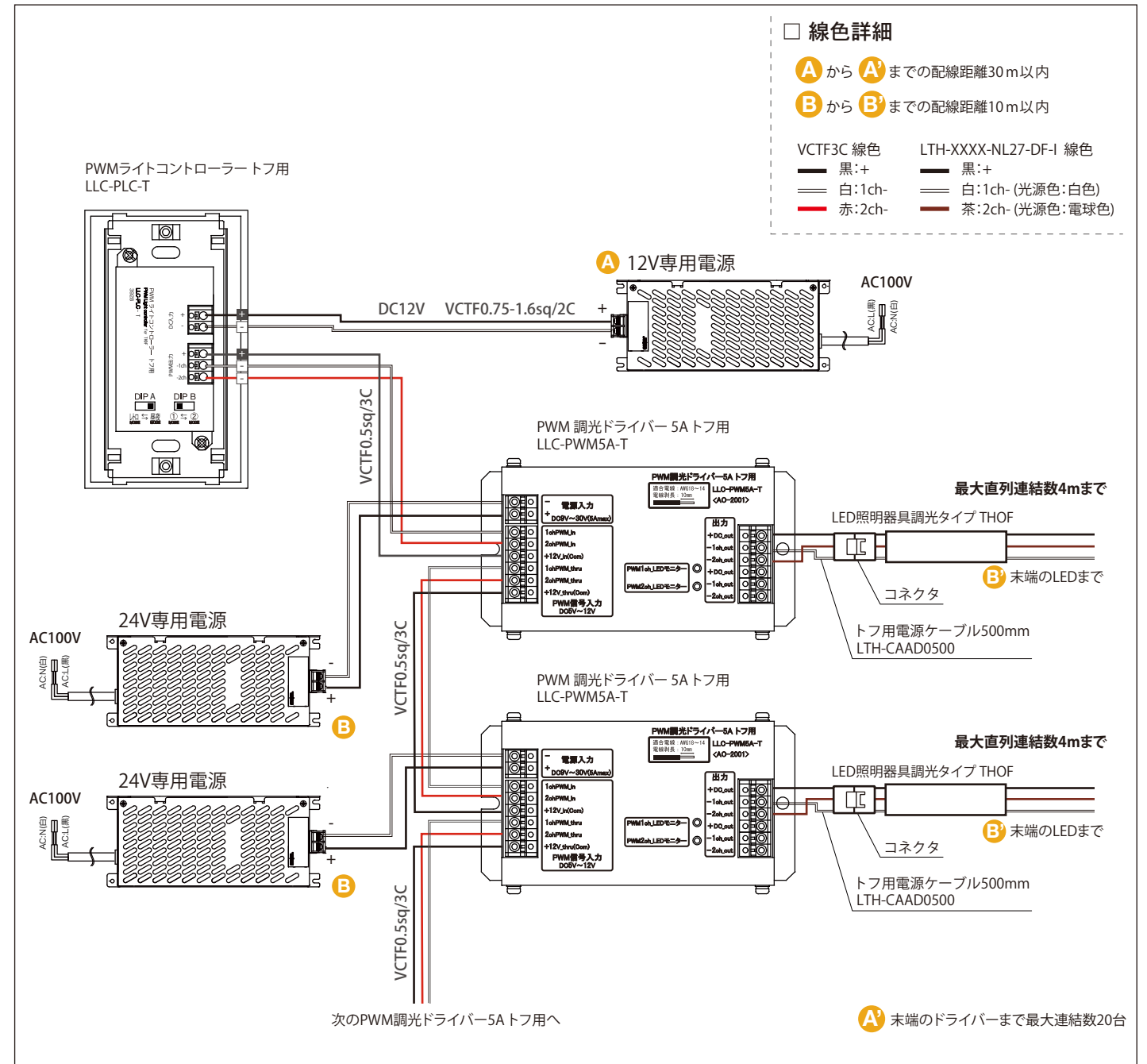


#### ■ライコン単体で使用する場合（器具調光タイプ THOF）

PWMライトコントローラー トフ用(裏面)



#### ■ドライバーを連結して使用する場合 調光タイプ THOF



#### ■FAQ

Q. PWM調光ドライバーの最大接続数は何台ですか？

A. LLC-PLC-Tとの接続の場合、20台までです。それ以上連結する場合はPWM信号増幅器 トフ用(LLC-PLCSA-T)を使うことで更に20台づつ増やしていくことができます。

Q. 右にひねると暗くなって左にひねると明るくなってしまいます

A. DIP Bのスイッチは正しい位置にありますか？ PWMライトコントローラー トフ用 単体で使用する場合は ②MODE、PWM調光ドライバー5A トフ用を接続して使用する場合は ①MODEです。

Q. 別途スイッチを設けたいのですが、問題がありますか？

A. 別途電源を設けた場合は立ち上がりの時に一瞬全灯する、等の現象が起こる場合がございます。また、復帰状態は電源を切る前の状態と同じになります。